



# 山口宇部 医療センター だより



玄関前の桜の木が秋から冬への季節の変わり目をゆっくと伝えてくれます。

理念

患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療を提供します。

基本方針

1. がん、呼吸器疾患の専門病院として、高度で専門的な医療を提供します。
2. 重症心身障害児(者)の専門施設として、きめ細やかな医療と療育を提供します。
3. 十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
4. 臨床研究を推進し、医学の進歩に貢献します。
5. 地域医療連携に努め、医療従事者、地域住民の医学教育、研修を行います。



独立行政法人 国立病院機構

## 山口宇部医療センター

山口県特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)

〒755-0241

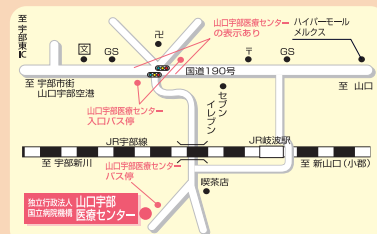
山口県宇部市東岐波685番地

TEL.0836-58-2300(代)

FAX.0836-58-5219



<http://www.yamaguchi-hosp.jp/>



# 緩和ケア内科

医長 竹内 愛

「緩和ケア」は、患者さんと御家族の様々な苦痛に対処し、最良の「生活の質=Quality of Life」を叶えることを目的としています。

現在当院では、緩和ケア内科専従医師2名と多職種メンバーで、「緩和ケアチーム」と「緩和ケア病棟」での緩和ケアの提供を行っております。

## ★緩和ケアチーム

一般病棟に入院中の希望された患者さんを対象として、チームメンバーによる回診を行います。多職種チーム（緩和ケア内科医師・精神科医師・緩和ケア認定看護師・薬剤師・臨床心理士・管理栄養士）により、様々なお困りごとに対して幅広く対応致しております。

## ★緩和ケア病棟

宇部市唯一の緩和ケア病棟で、1998年10月に開設後、歴代の多職種メンバーにより24年間の歴史が繋がってきました。

眺めのいいゆったりとした個室環境で、現在、悪性腫瘍の患者さんが対象です。継続入院だけでなく、一時的な入院も可能です。「治すこと」や「延命」を目指すのではなく、様々な辛さを少しでも和らげ、その人らしく過ごしやすい1日1日となる様、多職種でのワンチーム（緩和ケア内科医師・精神科医師・看護師・看護助手・薬剤師・臨床心理士・リハビリ療法士・栄養士・医療ソーシャルワーカー など）で患者さんと御家族を支えます。

コロナ禍は、面会制限という形で、患者さんと御家族とのかけがえのない時間にも支障をきたしています。また、以前の様な外出泊も難しくなっています。そんな厳しい状況下にあっても、季節を感じ、病室外でも楽しんで頂ける様、看護師や看護助手が、病棟内の装飾に工夫を凝らしたり、手作りのアイテムによるプチイベントを催したりしています。今年の夏には、それぞれが思いを込めて一つ一つ紙で作った提灯を笹に飾り、患者さんやご家族の癒しとなる様、力を尽くしました。

病棟スタッフが、それぞれのホスピスマインドを大切にした、あたたかいケアでの寄り添いにつとめております。



プチイベントの様子

# 栄養管理室

## — 朝食の選択メニューを始めました! —

栄養管理室長 西田 真之

山口宇部医療センターの病院食では、患者さんから希望があれば朝食の主食をご飯からパンへ変更することができます（治療などによっては選択できない食事もあります）。普段から朝食にパンを食われている方に対して、できる限り家庭での食事に近い病院食の提供を心掛けています。朝食にパンを選択していただいた方には、飽きがこないよう、食パンだけでなく、バターロールやクロワッサンなど、変わりパンの提供を行っております。しかし、いずれの変わりパンも、甘くはなく、菓子パンの提供は行っておりませんでした。栄養士が患者さんに食事の希望を聞きに伺った際にも、甘いパンを食べたいとお声を多くいただきました。そこで、

栄養管理室では、新たな朝食メニューとして、菓子パンの選択メニューを令和4年6月より、開始しました。

治療食ではない患者さんを対象に、月に2回、朝食のパンを選んでいただくようにしました。別途で220円のお金は徴収させていただきますが、普段のパンの代わりに、菓子パンを3つ提供しています。メロンパンやクリームパンなどの定番の菓子パンから、オレンジデニッシュやマーブル食パンなどの変わり種まで、ご用意しております。実際に選んでいただいた患者さんからは、ご好評いただいております。山口宇部医療センターに入院された際には、選んでいただければ幸いです。



マーブル・シナモン・アンパン



マーブル・メロン・オレンジデニッシュ



マーブル・シナモン・クリームパン



マーブル・メロン・クリームパン

# 2階病棟

看護師長 武原 幸子

2階病棟は病床数45床の外科病棟です。現在外科医師は5名で呼吸器外科では肺癌・悪性中脾腫・気胸等、乳腺・消化器外科では乳癌、胃瘻増設・PTEG(経皮経食道胃管挿入術)など月に20件以上の手術を行っています。病棟には外科疾患の患者さんだけでなく、内科の気管支鏡検査を受けられる方や、人工呼吸器管理の方など重症な患者さんもおられ、緊急・時間外入院の受け入れにも対応しています。病棟看護師は28名で患者さんに安心・安全な療養環境を提供し、治療・検査に専念していただけるよう、また自由に面会をしていただけないため、ご心配をされているご家族にも安心していただけるようスタッフ一同協力し合い、明るく元気に笑顔をモットーに、日々看護に頑張っています。



毎日あたたかくはありますが、患者さんに誠実に、そして患者さん・ご家族に寄り添える看護を、これからも努めてまいります。



## きらら病棟秋行事

# 世界の祭りへ! イッテJOY ~みんなで世界へ飛び出そう~

保育士 早崎 典子

10月5日(水)に、きらら病棟の秋行事が行われました。コロナ禍で、外へ出かけて行くことが難しい日が続いており、「それならみんなで、世界の国で暮らす人になっちゃおう!」と企画したのが、秋行事「世界の祭りへ! イッテ JOY ~みんなで世界へ飛び出そう~」です。

秋行事までの約2か月間、きらら東西病棟みんなで話し合い、きらら東病棟が「イギリス」、きらら西病棟が「ブラジル」の国の人になって、その国の挨拶や音楽に触れてきました。

療育中、国歌の練習をしていると、看護師さんやリハビリのスタッフの方も一緒に歌って下さる等、みんなで秋行事に向けてワクワクしながら準備を進めてきました!

当日は、いつもみんなで過ごすデイルームが、それぞれの国花や国旗、地球儀などで素敵に飾られた「きららインターナショナルホール」となり、それぞれの国からたくさんの方が集まって賑やかに始まりました。

オープニングは、国歌に合わせて国旗が入場する参加国紹介に続き、開会宣言を行いました。少し照れながらもマイクで宣言して下さった方、「楽しもう!」をポルトガル語や英語で言って下さった方、会場みんなで心をつにして、いよいよスタートです!

ここからは、二つの国のお祭りをみんなで楽しむ時間! 二つの国のお祭りをきらら病棟バージョンにアレンジして、お祭りスタート!

トップバッターは、イギリスの「パイ投げ祭」です。イギリスからやって来た腹ペコな二人組の大きな口の中に入れて、パイを食べさせてあげるこのゲーム、みんなで手作りした色とりどりのパイを、パクパク食べてもらっていました。すると、突然、イギリスの近

衛兵の行進が始まりました!なんと近衛兵の行進中は、パイ投げをストップするルールになっているのです。パイ投げの途中に突然始まるかっこいい近衛兵の行進に、みなさんドキドキしながら、頑張ってパイを投げておられましたよ。

続いては、ブラジルの「リオのカーニバル」です。カーニバルの前に登場したのは、お神輿に乗った、病院のマスコットキャラクター「サンちゃん」と「ヨウちゃん」です。まずは、サンちゃんとヨウちゃんの衣装をカーニバル風にカラフルな羽根で飾りました。サンちゃん、ヨウちゃん二人とも、それぞれ個性がキラリと光る衣装が完成し、準備はバッチリ!ご機嫌なサンバの曲に合わせて、リオのカーニバル、スタートです!みんなで情熱的に踊り、会場内は、みなさんの元気パワーが溢れていましたよ。

それぞれの国のお祭りの後のエンディングでは、世界の国の人達が平和で楽しい毎日を過ごすことが出来るようにと願いを込めながら、大きな地球ボールを転がす「ハッピーコロコロ earth」と閉会宣言を行いました。

コロナに負けず、みんなの心を一つに行った秋行事、みなさんのワクワクと笑顔に包まれた楽しい一日になりました。



# COVID-19対策のために設置された 東京都臨時医療施設の派遣業務に従事して

3階病棟 中谷直之 渡辺恭介

COVID-19 対策のために設置された東京都臨時医療施設の派遣業務に、3階病棟看護師の渡辺が5月1日から5月31日まで、中谷が8月8日から9月5日までそれぞれ従事してきました。臨時医療施設はすべての職種において全国の NHO から派遣された職員で運営されており、皆が初対面である為、1人の看護師として力を発揮していけるのが不安でした。自分が所属している病棟であれば、いつも一緒に働く仲間であり、関係性が構築されている為、チームワークを発揮することが出来ます。しかし、臨時施設では、最初はお互いが初対面であるが故に遠慮し合い、声を掛け合うことができずコミュニケーションエラーにつながるがありました。そこで、皆で話し合いを行ない、お互いに意識して声を掛け合い、コミュニケーションを取ることにしました。そして、業務の進捗状況や情報の共有を行うことで、患者さんの為のより良い看護につなげていくことができたのではないかと思います。日頃から声を掛け合うことが大切だと言われていますが、派遣業務に従事して、「誰かがやるだろう」の暗黙の了解で動くのではなく、声を掛け合い確認することの重要性やコミュニケーションを取ることの大切さを改めて学ぶことができました。

派遣看護師はそれぞれ経験値や経験してきた領域が違い、自分にはない看護の視点や知識を学ぶ機会となりました。お互いを尊重し、それぞれの経験してきたことをふまえ、得意分野や不得意分野を補完し合うことで、患者さんを支えるという一つの目標に向けて、チームで看護をすることができたのだと感じました。

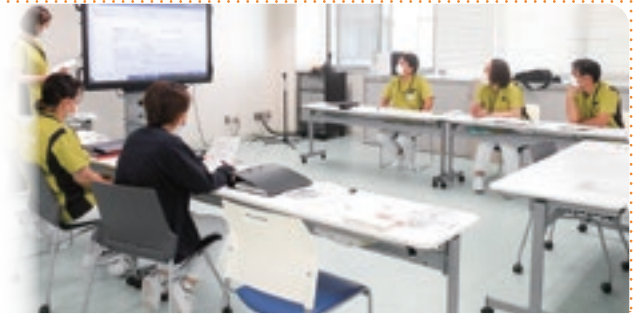
全く知らない環境の中、ホテル暮らしや電車通勤など精神的に辛い面もありましたが、同じ派遣看護師の仲間たちに支えられながら、1か月間勤務することができました。また、当院とはまた違う設備や看護手順などを学ぶことができました。今回の経験を今後を活かし、患者さんにとってより良い看護を提供できるようにしていきたいと思います。



# 特定行為研修修了して。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師 特定行為研修修了者

副看護師長 佐伯 達矢



2025年に団塊の世代が75歳以上になり、国民の3人に一人が65歳以上、5人に一人が75歳以上になるといわれています。厚労省は医療提供の改革が必要と考え、その対策として特定行為に係る看護師の研修制度が導入され2015年から研修が開始されました。特定行為とは、今まで医師が行っていた行為を「手順書」と呼ばれる包括的指示のもと、実践的な思考力と判断力、高度な知識と技術をもって研修を修了した看護師が実践を行う行為のことで、全部で38行為ありますが、この度研修を受講して気管カニューレの交換や人工呼吸器の設定変更、薬剤の調整や呼吸器からの離脱評価などの呼吸器に関連した6行為について修了しました。

医療の高度化や専門家が進む中において、医療に携わる各職種がそれぞれの専門性を発揮してチームとして患者さんに関わる事が重要視されています。

その中で看護師は常に患者さんのそばにいる存在としてチーム医療の中心的役割を担う存在とされています。特定行為研修では看護師としての視点だけでなく、医学的視点を学ぶことにより、「今患者さんに何が起きているのか」ということについてより深く考えることが出来る様になりました。看護師が知識を深めるとともに実践できる技術が増えることは、チーム医療の推進や早い段階での患者さんへの対応が行えるようになります。また、特定行為を看護師が実践することで、医師は処置に費やす時間が減少することでより診療に時間をかけることが出来ると期待されており、医療全体の質の向上につながります。

現在、特定行為研修修了者院内第1号として、特定行為実践のための組織づくりを終了し、特定行為の一つである気管カニューレの交換を開始しています。今後研修で終了した他の行為についても随時実践を開始し、当院での医療の質向上に向けて活動を行っていきたくと考えております。



# 外来診療担当医表

診療科	概要	月	火	水	木	金
内科新患外来		青江 啓介	前田 忠士 山本 佑 兼定 晴香	松森 耕介 兼定 晴香	米澤 恒成 兼定 晴香	角川 智之 渡邊 倫哉
内科紹介外来			亀井 治人	亀井 治人		亀井 治人
内科			石田 浩一			石田 浩一
呼吸器内科		坂本 健次 伊藤 光佑 村川 慶多 兼定 晴香	恐田 尚幸 原田 美沙	恐田 尚幸 末竹 諒 藤井 哲哉 上原 翔	伊藤 光佑 深津 愛祐美 水津 純輝 藤井 哲哉	村川 慶多 原田 美沙 上原 翔 兼定 晴香
腫瘍内科	抗がん剤治療 肺がん等	前田 忠士 近森 研一	青江 啓介 宇都宮 利彰	近森 研一	前田 忠士 宇都宮 利彰	青江 啓介
画像診断科	画像診断等		松本 常男			松本 常男
呼吸器外科新患外来		井野川 英利		沖田 理貴	岡田 真典	
呼吸器外科・外科	肺がん	沖田 理貴 岡田 真典		井野川 英利 岡田 真典	井野川 英利 沖田 理貴	
乳腺・消化器外科	胃がん・ 大腸がん等	平澤 克敏		平澤 克敏 (午前中のみ)		平澤 克敏 (手術で不在の場合あり)
緩和ケア内科	※完全予約制	竹内 愛	小笠原 啓子		竹内 愛	
放射線科	画像診断・ 放射線治療等	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎
小児科	障害児外来 ※紹介予約患者のみ 診察			奥田 裕美		沖野 文子
精神・神経内科	てんかん等	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘

※下記診療科は入院患者のみ診療

消化器内科	内視鏡等 ※午前中のみ				松本 俊彦	
整形外科	リウマチ・骨粗鬆症等 ※午前中のみ					今城 靖明
歯科	※午後13時～		野田 健人	原田 彩		
耳鼻いんこう科	※午後13時～			沖中 洋介 (1・3・5週目) 竹本 洋介 (2・4週目)		
神経内科	※午後13時～			根来 滉		
皮膚科	※午後14時～				杉本 紘子	

① 外来受付時間：午前8時30分～11時30分 【外来診療開始時間：午前8時45分～】

※内科新患外来：午前9時30分～11時00分 / 内科紹介外来：午前9時00分～11時00分

② 再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

③ CT及び核医学(シンチグラム)の外来紹介は、地域医療連携室(内線2452)までご連絡ください。

患者紹介に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで

地域医療連携室

受付時間 / 毎週月～金曜日まで 8時30分～17時15分

TEL(0836)58-4100 FAX(0836)58-2938

